

県内市町の給与の状況について

令和6年3月 市町課

1 団体区別のラスパイレシ指数の推移

令和5年4月1日現在の県内市町のラスパイレシ指数の平均（職員数による加重平均）は99.0で、前年から▲0.2となっています。

市の平均は99.2、町の平均は96.1で、全国平均に比べ市は+0.6、町は▲0.2となっています。

第1表 県内市町(村)の団体区別ラスパイレシ指数

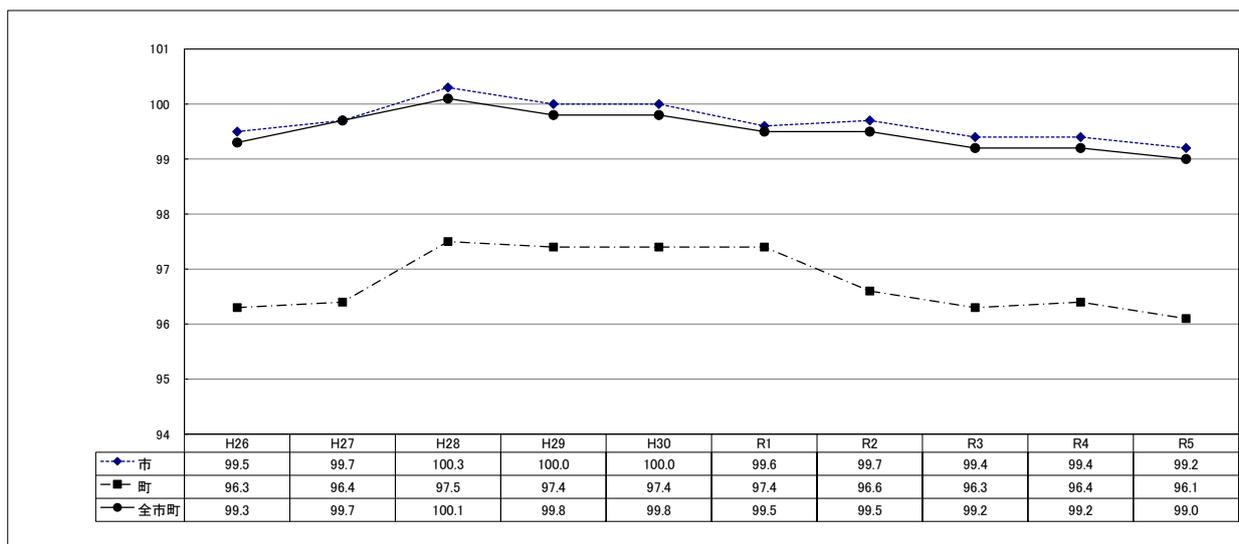
区分	昭和58年 (1983年)	昭和63年 (1988年)	平成5年 (1993年)	平成10年 (1998年)	平成15年 (2003年)	平成20年 (2008年)	平成25年 (2013年)	平成30年 (2018年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	増減 S58→R5	増減 R3→R4
県内市 (全国市)	110.1 109.0	107.3 105.4	105.6 103.6	104.1 102.1	102.2 100.7	100.4 98.3	107.4 106.6	100.0 99.1	99.4 98.7	99.2 98.6	▲10.9 ▲10.4	▲0.2 ▲0.1
県内町(村) (全国町村)	100.3 98.3	99.3 96.8	99.3 96.5	98.9 96.1	98.6 95.7	96.0 94.2	103.8 103.2	97.4 96.4	96.4 96.3	96.1 96.3	▲4.2 ▲2.0	▲0.3 0.0
県内市町(村) (全国全団体)	107.0 105.9	104.5 103.4	103.2 102.4	102.1 101.3	100.8 100.1	100.0 98.7	107.1 106.9	99.8 99.2	99.2 98.9	99.0 98.8	▲8.0 ▲7.1	▲0.2 ▲0.1

2 県内団体区別のラスパイレシ指数の過去10年間の推移

過去10年間のラスパイレシ指数の推移をみると、平成24年4月1日の調査時点では、国家公務員の時限的な給与改定特例法による措置（給与削減措置）を実施していないため、上関町を除く団体でラスパイレシ指数が100を超えました。

平成26年4月1日の調査時点では、国家公務員の時限的な給与改定特例法が終了したため、以降はおおむね平成23年以前のラスパイレシ指数となり、平成28年以降は微減傾向にあります。

第2表 県内市町の団体区別ラスパイレシ指数の過去10年間の推移



- 注) ・一般行政職の給料について、国家公務員の水準を100として、ラスパイレシ方式により各市町職員の水準を指数化した。
 ・「平均」は職員数による加重平均。
 ・「全国全団体」は、都道府県、指定都市、特別区を含む全地方公共団体の数値。
 ・昭和58年～平成30年（5年周期）は、統計法に基づく指定統計調査により実施。

3 ラスパイレス指数の分布状況の推移

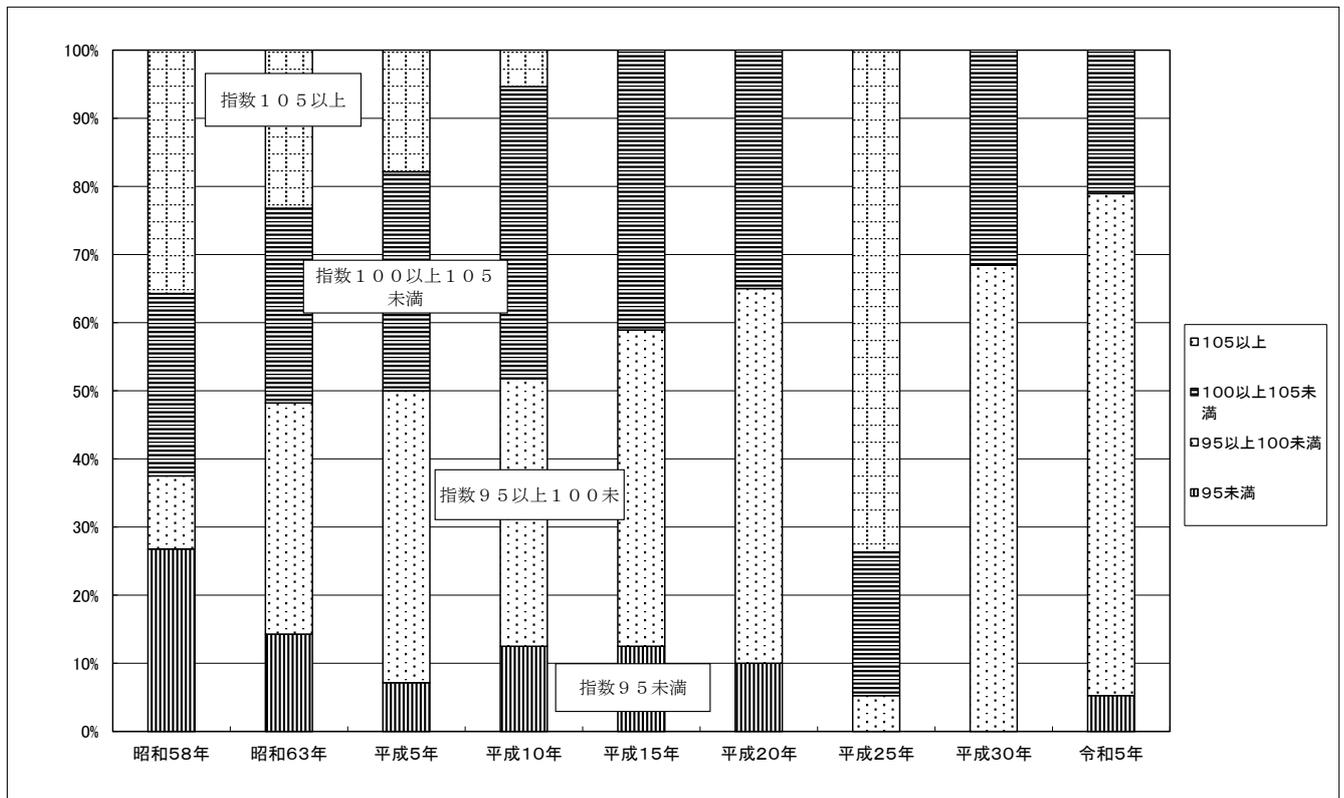
ラスパイレス指数100以上の団体は4団体（県内市町数の約21.1%）、100未満の団体は15団体（同約78.7%）となっています。

第3表 ラスパイレス指数区分別の団体数

上段は県内市町(村)、下段は全国全団体の数値

ラスパイレス指数	昭和58年 (1983年)	昭和63年 (1988年)	平成5年 (1993年)	平成10年 (1998年)	平成15年 (2003年)	平成20年 (2008年)	平成25年 (2013年)	平成30年 (2018年)	令和5年 (2023年)
105以上	20	13	10	3	0	0	14	0	0
	790	444	247	79	5	1	889	0	0
100以上105未満	15	16	18	24	23	7	4	6	4
	849	816	848	825	675	254	697	336	182
95以上100未満	6	19	24	22	26	11	1	13	14
	821	1,059	1,272	1,405	1,473	839	175	1,110	1,185
95未満	15	8	4	7	7	2	0	0	1
	865	996	939	993	1,107	764	28	342	354
合計	56	56	56	56	56	20	19	19	19
	3,325	3,315	3,306	3,302	3,260	1,858	1,789	1,788	1,721

第4表 県内市町(村)のラスパイレス指数区分別構成比



4 団体別ラスパイレース指数の状況

- ① 上位団体は 1) 周南市 2) 宇部市 3) 防府市
 下位団体は 1) 周防大島町 2) 上関町 3) 平生町 となっています。
- ② 前年と比較して、高くなった団体は8、低くなった団体は9となっています。

第5表 団体別ラスパイレース指数 (令和5年4月1日現在)

団体名	令和4年	令和5年	R4→R5	備考
下関市	99.3	98.7	▲ 0.6	
宇部市	100.1	100.3	0.2	
山口市	99.7	99.9	0.2	
萩市	98.4	98.4	0.0	
防府市	99.9	100.1	0.2	
下松市	98.9	98.9	0.0	
岩国市	97.6	97.7	0.1	
光市	98.0	98.3	0.3	
長門市	96.8	96.7	▲ 0.1	
柳井市	97.6	97.2	▲ 0.4	
美祢市	99.1	98.4	▲ 0.7	
周南市	101.1	100.6	▲ 0.5	
山陽小野田 市	100.3	100.0	▲ 0.3	
市平均	99.4	99.2	▲ 0.2	
周防大島 町	95.6	94.1	▲ 1.5	
和木町	97.2	96.3	▲ 0.9	
上関町	93.3	95.3	2.0	
田布施町	98.5	97.3	▲ 1.2	
平生町	94.8	95.5	0.7	
阿武町	96.9	97.2	0.3	
町平均	96.4	96.1	▲ 0.3	
市町平均	99.2	99.0	▲ 0.2	

5 団体別地域手当補正後ラスパイレス指数

地域手当補正後ラスパイレス指数は、周南市が100.6（補正前と同値）となっています。

※周南市の地域手当補正後ラスパイレス指数とラスパイレス指数が同値である理由は、令和4年4月1日現在の周南市の地域手当の支給率（3%）が国の指定基準に基づく支給率（3%）と同値であるためです。

《地域手当補正後ラスパイレス指数とは》

平成18年度から導入された地域手当を加味して、地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。

【算出方法】

地域手当補正後ラスパイレス指数＝現行ラスパイレス指数× $\frac{(1 + \text{当該団体の地域手当支給率})}{(1 + \text{国の指定基準に基づく地域手当支給率})}$

第6表 地域手当補正後ラスパイレス指数（令和5年4月1日現在）

団 体 名	ラスパイレス指数 ①	地域手当補正後 ラスパイレス指数 ①×(1+②)÷(1+③)	地域手当	
			各市町の支給率 ②	国の支給率 ③
下 関 市	98.7	98.7	-	-
宇 部 市	100.3	100.3	-	-
山 口 市	99.9	99.9	-	-
萩 市	98.4	98.4	-	-
防 府 市	100.1	100.1	-	-
下 松 市	98.9	98.9	-	-
岩 国 市	97.7	97.7	-	-
光 市	98.3	98.3	-	-
長 門 市	96.7	96.7	-	-
柳 井 市	97.2	97.2	-	-
美 祢 市	98.4	98.4	-	-
周 南 市	100.6	100.6	3%	3%
山陽小野田市	100.0	100.0	-	-
周防大島町	94.1	94.1	-	-
和 木 町	96.3	96.3	-	-
上 関 町	95.3	95.3	-	-
田 布 施 町	97.3	97.3	-	-
平 生 町	95.5	95.5	-	-
阿 武 町	97.2	97.2	-	-

6 団体別平均給与月額・平均年齢

① 県内市町の平均給与月額は、市 4,083百円、町 3,636百円、全市町平均 4,053百円となっています。

② 県内市町職員の平均年齢は、市 43.5歳、町 42.7歳、全市町平均 43.4歳

第8表 平均給与月額・平均年齢 (令和5年4月1日現在)

(単位：百円、歳)

団体名	平均給与月額 (A)+(B)	平均給料月額 (A)	諸手当月額 (B)	平均年齢
下関市	4,344	3,349	994	44.0
宇部市	4,388	3,444	944	45.2
山口市	4,136	3,355	782	43.8
萩市	3,927	3,315	612	44.7
防府市	3,702	3,064	638	39.8
下松市	3,962	3,254	708	43.1
岩国市	4,246	3,266	979	43.8
光市	3,770	3,171	599	42.8
長門市	3,746	3,244	502	43.4
柳井市	3,775	3,224	552	43.9
美祢市	3,757	3,220	537	42.9
周南市	3,984	3,293	691	42.8
山陽小野田市	3,902	3,171	731	42.3
市平均	4,083	3,290	793	43.5
周防大島町	3,687	3,134	552	43.9
和木町	3,738	3,209	529	44.4
上関町	3,489	3,012	477	41.9
田布施町	3,589	2,954	636	40.2
平生町	3,797	3,131	666	42.9
阿武町	3,309	2,974	335	43.2
町平均	3,636	3,074	562	42.7
市町平均	4,053	3,275	777	43.4

(単位：百円、歳)

	(A)+(B)	平均給料月額 (A)	諸手当月額 (B)	平均年齢
全国全団体平均	4,048	3,152	896	42.1
全国市平均	4,020	3,158	862	42.1
全国町村平均	3,613	3,022	591	41.3

注1) 諸手当：扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、
単身赴任手当、特殊勤務手当、管理職手当、
特勤手当、時間外勤務手当等

2) 表示単位未満を四捨五入としているため、合計が一致しないことがある。

(参考) ラスパイレス指数、変動要因等

1 ラスパイレス指数

地方公共団体の一般行政職の給料額と国の行政職俸給表(一)の適用職員の俸給額とを、学歴別、経験年数別にラスパイレス方式により対比させて比較し算出したもので、国家公務員を100としたものです。

ラスパイレス方式

地方公共団体の職員構成が国の職員構成と同一と仮定し、地方公共団体の仮定給料総額(地方公共団体の学歴別、経験年数別毎の平均給料月額に国の職員数を乗じて得た総和)を国の実給料総額で除して得る加重平均方式により求めるもの。

ラスパイレス方式を算式で示すと次のようになる。

$$L = \frac{\sum (p_1 \times q_0)}{\sum (p_0 \times q_0)} \times 100$$

L :ラスパイレス指数
 p_0 :基準団体(国)の職員構成区分別平均給料月額
 p_1 :比較対象団体(市町)の職員構成区分別平均給料月額
 q_0 :基準団体(国)の職員構成区分別職員数

〈職員構成区分〉

学歴別:大学卒、短大卒、高校卒、中学卒の4区分

経験年数別:次の12区分

「1年未満」「1年(以上)～2年(未満)」「2～3年」「3～5年」

「5～7年」「7～10年」「10～15年」「15～20年」

「20～25年」「25～30年」「30～35年」「35年以上」

〈一般行政職〉

技能労務職、企業職、消防職、医師、研究職等を除く職員

2 ラスパイレス指数の変動要因

ラスパイレス指数は、国家公務員の給料との比較で次のような場合に変動します。

- ・給料カットを実施又はカット率を変更した場合
- ・給料の改定率が異なる場合
- ・初任給基準や昇格・昇給基準が異なる場合
- ・昇給期間の短縮、延伸などを行った場合
- ・職員構成、経験年数別階層の変動があった場合
(職員数の少ない団体では変動に大きく影響する場合がある)

※ 公務員の給与の全国状況については、総務省が公表(令和5年3月29日)

県内市町の自宅に係る住居手当の状況について

令和6年3月 市町課

県内市町の状況（令和5年4月1日現在）

○ 自宅に係る住居手当の制度が残っている団体は1団体（約5.3%）

市町名	制度の有無	内容
下関市		廃止済
宇部市		廃止済
山口市		廃止済
萩市		廃止済
防府市		廃止済
下松市		廃止済
岩国市		廃止済
光市	●	一律 3,000円
長門市		廃止済
柳井市		廃止済
美祢市		廃止済
周南市		廃止済
山陽小野田市		廃止済
周防大島町		廃止済
和木町		廃止済
上関町		廃止済
田布施町		廃止済
平生町		廃止済
阿武町		廃止済